

部  
品  
用  
品  
整  
備

最新動向

# TECHNO テクノレーダー RADAR

44

## レクサス LS460 プリクラッシュ セーフティシステム

その1



### ■ “最先端の先” を行く安全技術とは？

9月下旬、トヨタ自動車の高級車ブランドである「LEXUS」から、旗艦モデル「LS460」が発表された。走行&安全技術は「最先端の先に行く」というコンセプトに基づき、最高級モデルにふさわしい最新技術が数多く投入されている。本項は、その中で一段と進化を遂げた「プリクラッシュセーフティシステム」に着目した。

今回、LS460にオプション設定された同システムは、世界初の「前方の歩行者検知と操舵回避支援」に加え、リヤバンパー内に設置したミリ波レーダーにより「車両後方からの衝突検知機能」も備えたのが大きな特徴だ。

#### ● 車両前方からの衝突対応機能

新型ミリ波レーダーと新開発ステレオカメラとの「フュージョン方式」により、車両や障害物に加え「歩行者」の検知を実現。ヘッドランプ内の近赤外線投光器により、夜間の検知機能も向上させた。

また、ドライバーの危険回避操作に対応して「VGRS」(ギヤ比可変ステアリング)や「AVS」(電子制御エアサスペンション)、「VDIM」(ア

クティブステアリング統合制御)などの連携により車両の挙動の安定性を向上させ、危険回避を支援する。

### ■ 調整ミスが深刻な事態を招く恐れも…

言うまでもないが、このようなシステムは装置のひとつに故障が生じた場合、走行状況の検知やそれに応じた判断が正確にできなくなる。

特にミリ波レーダーはフロントグリルの内側に設置されている場合が多く、たとえばラジエータやエアコンの修理などでレーダーの周辺を作業する際、不用意に手で触ったり工具をぶつけてしまうとレーダーの校正が狂ってしまう恐れも否定できない。

実際、LS460のミリ波レーダーを脱着した後に行う調整は、専用の水準器やレーダーを反射させる「リフレクタ」といったSSTを数多く使用し、複雑で高度な調整を行う技量が必要だ。

軽い気持ちでレーダーを脱着したつもりが、後々お客様を思いがけない危険な状況へ追い込んでしまうかもしれないことを、十分注意しておくことが求められるだろう。